



宝永小だより

No.2

福井市宝永小学校

令和7年4月23日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

新任式・担任発表・始業式 4月8日(火)

春休み明けの初日、6名の教職員の新任式を行いました。新任教職員の紹介の後、各教職員が子どもたちに挨拶をしました。6年生の代表からは、温かい「歓迎の言葉」が述べられました。



＜新任式での一場面＞

緊張感の漂う中、各学年の学級担任が順に発表されていくと、担任の教員は「はい」と返事をして、それぞれの学級の前に立って行きました。次に、担任以外の教職員も紹介されました。全教職員が紹介されたところで、全校児童が声をそろえて「よろしくお願いします」と、元気に挨拶することができました。

始業式では、「私は宝永小学校の皆さんの校長になれたことを、心からうれしく思っています」と、笑顔で伝えました。そして、「私は今年度一年間、宝永小学校の皆さんの校長先生であることをたっぷり楽しみたいと考えています」と、私の目標を語りました。もちろん、教職員一同、宝永小学校の子どもたちのさらなる成長を楽しみにしていることも加えました。

その後、新年度にあたり、改めて「めざす児童像」についての話をし、確認をしました。今年度も、「進んで学び合える子」「協力し合える子」「心と体を鍛える子」「ふるさとを大切にする子」の4つを常に心がけ、子どもたちには、さらに笑顔いっぱいの『宝永っ子』になれるよう頑張ってもらいたいと願いを伝えました。加えて、学校教育目標である「ひとり立ちできる子」にも触れ、4つの児童像を目指して学校の活動に取り組むことを通して、自分の力で物事をやりとげようとする心や、自分で考え行動する力を身に付けた子どもに育ててほしいという最終目標の姿も語りかけました。

本校では昨年度より、福井県版ポジティブ教育プログラムの推進に取り組み始めました。本プログラムは「いじめ等の予防につながる『ソーシャルスキル教育』を柱としたプログラム」、「仲間同士の認め合い、支え合いが可能となる『ピア・サポート活動』を柱としたプログラム」、「逆境に負けない心を育てる『レジリエンス教育』を柱としたプログラム」の3つから成り立っています。本年度も本プログラムに継続して取り組むことを通して、子どもたちがこれからの社会（先行きが不透明で、将来の予測が困難な社会）を生き抜いていく力の基盤を養っていきたいと考えています。そのためにも、本プログラムで学んだ力を実践できる場として、各学級・学年での体験活動や本校の強みである縦割り（全学年や異学年で構成された）グループによる体験活動に積極的に取り組み、子どもたちの成長を支えていけるよう、教職員一同が協働して進めていきたいと思っています。

本年度も保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

新入生25名が仲間入りした入学式 4月8日(火)



＜25名の新入生＞

25名の新入生を迎え、全校児童が参加して入学式を行いました。校長式辞の後、PTA会長の 小寺洋太郎 様から、祝辞をいただきました。1年生の子どもたちは緊張しているように見えていましたが、しっかりと話を聴いていました。

「歓迎の言葉」では、6年生の代表が優しく、そして堂々と1年生に語りかけました。授業や他学年との活動（通称：にこフレ活動）のこと、学校の外での学習（校外学習）のこと、運動会のことなどを紹介してくれました。そして、「今、緊張している子もいると思います。でも、この宝永小学校には、優しいお兄さんやお姉さんがいます。困ったときは、何でも相談してくださいね。一緒に楽しい思い出を作りましょう。」と、とても立派な態度と言葉で、大役を果たしてくれました。6年生になったばかりの二人でしたが、とても頼もしく思いました。

最後に、2～6年生全員で、「児童会の歌」をプレゼントしました。1年生の子どもたちは、上級生をお手本にしながら、どのように成長していくのだろうと考え、今後が楽しみです。

＊この「宝永小だより」は、子どもたちのがんばりや学校の様子をお伝えし、学校と家庭・地域との懸け橋になればと考えています。どうぞよろしくお願いします。

～校長式辞より～

《 3つの約束 》

- ①自分からあいさつをしよう
- ②お話をしっかり聴こう
- ③みんなと仲よくしよう

1年生 授業だけでなく、給食も開始

4月17日(木)

入学式の翌日

から、1年生の学校生活が順調に始まりました。登校してきた子どもたちは教室へ行き、まず、提出物を出してから学習用具を机に入れ、ランドセルをロッカーに片付けます。そして、体操服に着替えます。その際、ハンカチなどは体操服のポケットに入れ替えます。どの子どもだんだん上手にできるようになり、始業時刻の8時5分には全員が着席しています。授業では、聞き方や話し方、鉛筆の持ち方、集団生活でのきまりなどを一つ一つ身に付けていきます。子どもたちは、様々なことを自分でやりとげようと頑張っています。



＜1年生教室の授業の様子＞



・ごはん ・牛乳
・れんこんのごまサラダ
・ぶたにくのしょうがいため
・ごもくビーフンじる

←＜1年生 初日の給食＞

1年生の給食も始まりました。5名の給食当番が慣れない手つきで配膳をした後、分けきれなかった量を担任等の支援のもと、給食当番が改めて配分しました。ほぼ分けきったところで、子どもたちは合掌をし、大きな声で「いただきます」と言って、おいしそうに食べ始めました。多くの子どもたちは、きれいに食べ切ることができました。

給食時間の終わり頃には、6年生の子どもたちが、片付け方を教えに来てくれました。牛乳パックのたたみ方や食器の片付け方などを優しく丁寧に教えてくれていました。温かい言葉がけをしてくれる6年生の子どもたちの姿に、大きな成長を感じました。最上級生として自覚をもって行動できる6年生の子どもたちの頼もしさに、嬉しさがこみ上がりました。

今年度も、毎月の給食指導目標に合わせた指導の他に、学校栄養教諭による「食に関する指導」を予定しています。給食を通して、食事の重要性・心身の健康・食品を選択する能力・感謝の心・社会性・食文化などについて考え、学んでほしいと思います。



＜配膳の様子＞

大阪・関西万博の招待券が分けられる

4月14日(月)

福井県は13日開幕した大阪・関西



＜招待券のおもて＞福井県のHPより

万博に無料で入場できる招待券を県内すべての子どもに配る事業を進めています。本校では招待券が11日に届いたことから、14日朝、子どもたちに配りました。当日は6年1組に地元のNHK福井放送局、4年1組に日刊県民福井の取材が入りました。

担任の教員が、13日に大阪・関西万博が開幕したことなどを、子どもたちに伝え

た後、招待券やパンフレットなどが入った封筒を手渡しました。封筒には、「大阪・関西

万博招待券」と書かれたチケットなどが入っていて、入場にはチケットの裏に書かれたIDと別途、登録が必要な万博IDをひも付けたうえで

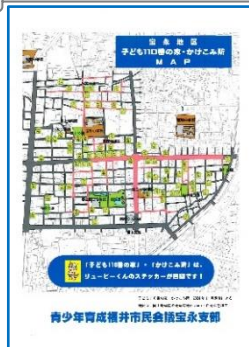
来場日時を予約する必要があります。受け取った6年1組の〇〇〇〇さんはインタビューに「日本館に展示されている“火星の石”や、アメリカのパビリオンに展示されている“月の石”などを見たいです」と応えました。また、〇〇〇〇さんは「家族で万博に行こうと話していたのでうれしいです。以前、家族の仕事の関係で中国にいたことがあるので、中国のパビリオンを見に行きたいです」と、インタビューに応じました。



＜配付時の取材の様子＞

「宝永地区 子ども110番の家・かけこみ所 MAP」も分けられる

4月18日(木)



＜クリアファイル＞

令和6年度に青少年育成福井市民会議宝永支部の活動で作成されたクリアファイル「宝永地区 子ども110番の家・かけこみ所 MAP」を、担任から子どもたちに配りました。

その際、宝永地区子ども110番の家・かけこみ所の目印は「リュウピーくんのステッカー」であることを子どもたちに伝えました。子どもたちにはクリアファイルをいつまでも大切にしてほしいと願っています。

町内子ども会で登下校を確認

4月19日(金)

町内割り当ての各教室

集まって、年度始めの初顔合わせとなる町内子ども会を行いました。班長は1年教室へ、1年生の子どもたちを迎えに行ってくれました。まず、マップで通学路と危険箇所・かけこみ110番などを確認しました。そして、メンバーの確認と並び方、集合場所や集合時刻、集団

登校時の注意事項を再確認しました。1年生の子どもたちにとっては初めてのことで、歩き方も班のメンバーと丁寧に教え合いました。その後、集団下校を行い、見守り隊の皆様や担当教諭の付き添いのもと、子どもたちは実際に歩きながら通学路の危険箇所や子ども110番の家・かけこみ所などを確かめました。保護者の皆様や地域の皆様には登録の有無にかかわらず、日頃より地域での安全な生活のために登下校の付き添いや温かい見守りをいただき、ありがとうございます。子どもたちには、今年度も交通事故に気をつけて、安全に登下校をしてほしいと願っています。どうぞよろしくお願いいたします。また、今年度は13名の皆様が見守り隊として登録してくださいました。町内子ども会の時間帯には見守り隊の皆様にお集りいただき、情報交換会を開催し連携を図りました。